

活性化モデル商店街の概要

商店街名：蟹江町商工会

●キャッチフレーズ

「こころの会話」を楽しめる街～蟹江町～

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

駅前を中心とした地域には、近年アパートやマンション、住宅が建設され、さらに名古屋市ベッドタウン化が進んでいる。

【課題】

蟹江町に長年語り継がれてきた伝統や文化、商業の町として栄えてきた歴史を今一度取り戻せるよう、打上げ花火形式のイベントありきではなく、真に地域が求める商店街の姿が求められる。

【対策】

蟹江町の玄関口でもある、近鉄蟹江駅前周辺の活性化を中心とした新しい動き、町内の地域資源などを利活用した継続的事業を模索しながら、常に新しい取組みを実施していく。

◎具体的に取組む事業内容

○げんき商店街推進事業（28年度～32年度）

商工会及び各地区発展会等による地域資源を活用したイベント開催などの商店街活性化事業

○街路灯LED化事業（28年度～32年度）

商工会が所有し、各地区街路灯組合（各発展会）が管理する街路灯を水銀灯からLED灯への灯具の取り替えを行う事業